

TEC-FORCE(緊急災害対策派遣隊)の活動状況

令和2年7月7日 14時時点

- 九州地方整備局を中心として関東、北陸、中部、近畿、中国、四国地方整備局のTEC-FORCEを被災地に派遣
- 本日236人のTEC-FORCEが排水活動、被災状況調査、リエゾン・JETT(気象庁)による自治体支援を実施。
更に被災状況に応じ増班。
- 排水ポンプ車30台、照明車15台等の災害対策用機械を現地へ派遣。
- 昨日6日、リエゾン7名が球磨村に到着。現地の被害状況等を収集中。

・派遣人数 のべ592人・日
・災害対策用機械 のべ180台・日

リエゾンの派遣(42人)

自治体へ赴き、被災状況を直接把握し、自治体への助言、関係機関との調整等を実施。



7月6日 熊本県・関係省庁等合同会議
(熊本県庁)



7月5日 自治体から被災状況の聞き取り
(熊本県湯前町)

排水ポンプ車による排水活動(30台)

人吉市へ排水ポンプ車を派遣し、浸水により処理機能を停止した下水処理場の排水など各地の浸水排除を支援。



7月4日 排水状況
(熊本県人吉市)



7月6日 排水状況
(福岡県久留米市)

熊本県球磨村へのTEC-FORCE派遣

7月6日リエゾン7名が球磨村へ到着し、村長のもと、村内の被害状況の収集を実施し、復旧方針等を検討。被災状況調査のため現在約20名の隊員を前進配備中。



7月6日 渡駅周辺の被災状況
(熊本県球磨村)



7月6日 国道219号の被災状況
(熊本県球磨村)

被災状況調査(127人)

早期の激甚災害指定のため、自治体所管施設の被災規模の把握を支援。7日は、127名の隊員が出動準備中。



7月6日 調査計画の立案



7月6日 調査状況
(熊本県芦北町)